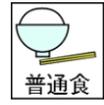


乳房の手術を受けられる患者様へ

- ・入院期間は変更があることもあります
- ・詳細につきましては、入院された後、看護師より説明させていただきます

経過日時	入院日 (/)	手術前日 (/)	手術当日 (術前) (/)	手術当日 (術後)	手術翌日 (/)	手術後2~5日目 (/)	手術後6~7日目 (/)	手術後8日目 (退院予定日) (/)
目標	・心身共に安定した状態で手術に臨むことができる			・創痛がコントロールされる。また、異常な出血をおこさない		・創部や腋の腫れがみられない		・退院後の生活の注意点について理解できる
検査	乳腺エコー (あり・なし)		手術室入室予定時間 (:)	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します				
治療			必要に応じて朝薬を飲んでもらう場合があります □9時からの手術です 手術時から点滴を行います □9時以降の手術です 朝9時ごろから点滴を行います	  術後翌日午前中まで点滴を続けます	午前中点滴を続け、終了後針を抜きます			 ※手術後8日程度で退院となりますが、創部の状態に応じて、退院日は前後することがあります。
				手術内容によっては創部にチューブ（ドレーン）が入ります 酸素吸入	創部のガーゼ交換 バスタバンドは翌朝主治医が外します	チューブ（ドレーン）からの排液が少なくなれば抜去されます		チューブが入っていた皮膚は自然に塞がります
説明・観察	看護師が、これまでにかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。現在内服中のお薬は、お薬の説明書と共に忘れずにご持参ください。手術に備え、和式の寝巻き1枚、T字帯1枚、バスタオル1枚をご用意ください		主治医より(/)()時頃に手術の説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただき、手術説明書・同意書をお渡しします。同意書に必要な事項を記入の上、看護師にお渡しください □(/)麻酔科医による診察があります	時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予め、はずしておいてください。義歯は必ず必要はありませんが、看護師までお知らせください。ウィッグ（かつら）を装着している場合は、事前に看護師に申し出てください。 入院中のご家族の面会は禁止となっております。手術当日も同様です。手術後は主治医から手術の経過についての電話連絡があります	手術の方法によりチューブ（ドレーン）が入る場合と入らない場合があります ・チューブなし（乳房部分切除・センチネルリンパ節生検術） ・チューブあり（乳房切除術・腋窩リンパ節郭清術）	手術翌日以降は、基本的に患肢を動かしても支障はありません。可能な範囲で、しっかり動かすようにしましょう。 センチネルリンパ節生検・腋窩リンパ節郭清術をした人は、手術後リハビリ体操を看護師と一緒にいきます 創が痛む場合は痛み止めを内服し、日を追うごとに痛みは少なくなっていきます	手術部の皮膚の状況によって、退院後数日間はお自身のガーゼ交換が必要となる場合があります。その際は看護師より説明します 退院指導・リンパ浮腫指導をします	次回外来受診日をお伝えします
					手術後尿道に管が入ってきます	翌朝管を抜きトイレ歩行を行います		
処置			腕の測定をします	手術前 看護師が準備したハイソックスを着用します				
入浴					タオルで体を拭きます	チューブ（ドレーン）が入っている方はタオルで上半身を拭き、下半身のみシャワー可能です		チューブが抜けたらシャワー浴可能です。しかし、湯船への入浴は次回外来受診までお控えください
活動			歩いて手術室に行きます	寝返りをうちましょう。ただし手術した方の腕を下にしないようにしてください 手術3時間後、吐き気がなく、血圧が安定していれば座位が可能です	制限はありません 			
食事		手術前日は、夕食まで食事をとってください。その後も水分は摂ることが出来ます。牛乳や果実の入った飲料は避けてください	手術当日の食事は禁止です 最終飲水時間()時まで()ml程度	手術3時間後、吐き気などなければ、お茶・水・スポーツ飲料は飲水可能です。食事はできません	朝から食事が出来ます 